

いきいき生きたい！ 働く、学ぶ、いきる現場から考える

働く現場でのパワハラ、セクハラなどのハラスメント。学びの場における「いじめ」。いずれも人間の尊厳を傷つけ、生きる気力と希望を奪う。刑事事件、少年事件として社会の耳目を集めることも多い。

社会に出ようとする私たちが働く現場の問題をあらためてとらえ直し、少しでも変えていくために必要なことを提起したい。また、学生としていじめを多面的に迫りながら、求められることを考える。

生き直しをしながら人を支える活動をする五十嵐氏とともに考えてみませんか。

市民の方の参加を歓迎いたします。(予約不要・参加費無料)

日 時 2017 年1月7日(土) 13:30～

場 所 KPC キャンパス B号館 B203 講義室

基調講演 「追い詰める社会」のなかで
五十嵐弘志 氏(NPO マザーハウス理事長、元受刑者)

構成劇 「わたしはもっと、いきいき生きたい」
シナリオ：常田啓太／3回生

問題提起と提言

- 1 「働く」なかで
 - * パワハラ、セクハラ・マタハラの実態から訴える
 - * 「あたりまえ」からの脱却で変えよう
- 2 「学び」のなかで
 - * 20歳が迫る「いじめ」問題
 - ・ なぜを知れるかー検証報告書の入手は？
 - ・ 「防止策」は生きてるか？
 - ・ 大学生の声を知る

パネルディスカッション



主催 神戸学院大学法学部 佐々木刑事法ゼミナール
連絡先 法学部長補佐室 078-974-1551(代)